

すずき せいじょう

2024年冬号 No.22

鈴木清丞 柏市議会報告

発行責任者：鈴木清丞（すずきせいじょう） 社民党千葉県連合所属

事務所：〒277-0922 柏市大島田42-3 コモリヤ102号

自宅：〒270-1445 柏市岩井802-11

電話：080-5497-0352 FAX：04-7192-4700

E-mail：suzukiseijo@gmail.com 次回号もお読みいただける方は連絡をお願いします。無料でお届けします。



つくば市義務教育学校はもう作らない！

つくば市の義務教育学校は4校、昨年度からは同一敷地内に小学校・中学校を併設

義務教育学校とは、小学校から中学校までの9年間の義務教育を一貫して行う学校で、2016年に学校教育法で位置付けられ、2023年度では、全国で207校。千葉県内は4校。

つくば市は、2007年度より小中一貫教育の準備を開始し、2012年度からは市内すべての小中学校で9年一貫の教育を完全実施しています。中学校を7～9学年としています。1つの中学校と複数の小学校を同じ「学園」として括る連携型とともに、施設一体型の一貫校も2012年度に1校スタートしました。そして2018年度には、新たに3校の施設一体型の一貫校である義務教育学校を開校しました。

昨年度には、学園の森義務教育学校から分離した、研究学園小学校と研究学園中学校を作りました。同小学校と中学校は同一敷地内にある別々の学校として運営されています。また、今年度からは、みどりの学園義務教育学校から、みどりの南小学校とみどりの南中学校を分離しました。このみどりの南小学校とみどりの南中学校も、同一敷地内にある別々の小学校、中学校として運営されています。

そのつくば市、ここに来て、もうこれ以上、義務教育学校は作らないという方向性を出してきたのです。同一敷地内に小学校と中学校を作るといふ、義務教育学校にできる条件がありながら、あえて義務教育学校にしないということです。確かに、つくば市の義務教育学校は児童生徒数が1000名を超えるマンモス校となっていますが、その事だけが理由ではないようです。

つくば市の義務教育学校を視察

私が所属しているみらい民主かしわ会派は、市民サイド会派と合同で、8月6日、つくば市の義務教育学校である「みどりの学園義務教育学校」を訪問し、教育委員会と校長先生を含む現場の先生方からの話をお聞きしました。

今年の3月までは、全校児童生徒数が2200人を超える超大規模学校でしたが、今年の4月から「みどりの南小学校」と「みどりの南中学校」を開校し、分割されたため、71クラス1800人の学校になったとのことでした。それまでは、遠くから登校する生徒は、保護者が送ってくる家庭も多く、保護者用の駐車場待ちができていたとのことでした。また、児童生徒数が2200人を超えていた昨年度の体育祭は1年生から6年生までは各学年毎に開催し、7年生から9年生までは合同で開催したとのことでした。

つくば市教育大綱に則れないから義務教育学校は作らない

新設の「みどりの南小学校」の児童数は700人超で、「みどりの南中学校」の生徒数は66人。2校は同一敷地内に建設され、小中連携教育を実施しているにもかかわらず、なぜ、義務教育学校にしないのかと疑問に思い、質問しました。

「つくば市では、義務教育学校は現状4校のみで、つくば市の教育大綱に則ることができないので、これ以上は作らない。」との回答でした。（つくば市教育大綱については次ページを参照してください）

6年生の自己肯定感は下がった

学びの連続性を大切にする義務教育学校は、中1ギャップの解消ができていたとのことでしたが、6年生が最高学年としてのリーダー体験がしにくいこともあり、6年生の自己肯定感が下がったとの見解もあるとのことでした。義務教育学校は異学年の交流がポイントであると思いますが、1学年が8クラスもあると異学年交流どころか、同学年の交流もしにくいのではないかと感じました。今回の視察は義務教育学校の課題を知る有益な機会となりました。

柏市教育委員会 つくば市義務教育学校2022年に視察 教育長、教育総務部長は同行せず 義務教育学校を作らない理由を聞かず？

柏市は、2023年9月、突然、柏中学校と柏第一小学校・旭東小学校を統合した柏中学校区義務教育学校を作ると発表し、強引に開校準備を進めています。柏市教育委員会は、2022年10月につくば市立春日学園義務教育学校（児童生徒数1104人・当時）を視察しています。その際の報告書によれば、メリットとして、①9年間の連続した学びの保障②複数の教員による学習指導及び生徒指導の実現（子どもの安心感）などが挙げられ、またデメリットとして①大規模校化してしまうことで、一人一人の児童生徒に目が行き届かなくなる②中学校籍教員が小学校の授業を行なうことへの負担感なども指摘されていました。



教育委員会
視察報告

つくば市の義務教育学校は、現在4校ありますが、このうちの3校の児童生徒数は1000人を超えています。また、その内の2校では2023年度と2024年度に、同一敷地内にそれぞれ小学校と中学校を新たに作りましたが、いずれの学校もあえて義務教育学校にしていません。この明らかに大きな教育方針の変更にもかかわらず、視察ではこの点についての質問をしたという報告がありませんでした。質問をしなかったのであれば、理解に苦しむところです。

なお、この視察には、教育委員会のトップである教育長と担当幹部である教育総務部長が同行していません。日程調整してでも視察すべきであったと思います。

つくば市2018年に、小中一貫教育の成果と課題を報告

つくば市では、2018年に150頁の「つくば市の小中一貫教育の成果と課題—調査報告書—」を発表しています。調査報告書では、5年間の小中一貫教育の成果と問題点を検証しています。具体的には、小中一貫教育のメリット、デメリットの両面から考察し、施設一体型の義務教育学校をさらに設置していくべきかどうかについて見解が示されています。



つくば市の小中一貫
教育の成果と課題

調査報告書は、児童・生徒、保護者および教員を対象とした意識調査を含めた膨大なデータを基にまとめられています。最終章の「展望」において、①9年間の一貫教育はこれからも進めていく②施設一体型の義務教育学校は、小学校高学年における中学校生活への期待感の低下や児童生徒の発達過程に応じて、何らかのステップアップの機会を設けておくことが重要である③連携型校の利点は今後とも活かしていかなければならない④施設一体型校と連携型校の設備を含めて、同じ質とレベルの教育機会が保障されるという公平性の確保が保障されなければならない、と記載されています。

また、つくば市では、2020年3月に「一人

つくば市2020年に、教育大綱も発表 「一人ひとりが幸せな人生を送ること」

ひとりが幸せな人生を送ることを最上位の目標とした教育大綱を策定し、発表しています。

近代公教育が始まってからおよそ150年がたち、その課題を踏まえ、考え方の転換を目指すとして、①『教え』から『学び』へ「一斉・一方向教育から個別・双方向の学びへ」②『管理』から『自己決定』へ「受動から能動へ」③『認知能力偏重』から『非認知能力の再認識へ』「知識偏重の教育から全人教育へ」と記載されています。



つくば市教育大綱

保護者・地域住民を含め十分な検討が必要

柏中学校区での義務教育学校設立については、事前に教育委員会定例会、市議会、地域の保護者・住民など関係者と何らの議論も無いまま、突然公表され、設置ありきで進められています。柏中学校の敷地に単独の小学校を建設するなども含め、十分な時間をかけ、開かれた多角的な検討が必須です。

3件の契約議案に反対投票、再入札すべき！

第3回定例会（9月議会）に上程された議案8号、議案9号、議案10号の3議案に反対投票しました。反対したのは私ひとりだけでした。3議案とも、仮称柏市こども・若者相談センターの新築工事に関する議案で、8号は建築工事、9号は電気設備工事、10号は機械設備工事の契約議案でした。



センターの建設は大賛成

この仮称柏市こども・若者相談センターは、十余二にある柏市青少年センターを解体し、その跡地に建設する予定のもので、柏市が設置し運営する児童相談所を含めた地上3階建ての施設になります。私は、この施設の建設に反対しているものではありません。それどころか、大いに賛成です。

では、何ゆえに反対するのかというと、入札に関して疑問があるからです。前回の第2回定例会でも、落札率が予定価格の98%を超えている議案や入札会社が1社である議案が計4件あり、反対しました。今定例会に上程された上記3議案も前回と同様であり、賛成することはできません。

落札率73.75%は賛成投票

議案第16号の柏市立図書館高田分館図書館家具等備品の購入議案は、税抜予定金額2185万3千円に対して、73.75%の落札率でしたので、この件は賛成投票しました。このような入札が本来であるべき形であると考えます。

落札率99.27%は反対投票

まず、議案8号の建築工事に関してです。予定価格の税抜26億1700万円に対して、3社が入札し、唯一予定価格を下回った会社が落札率99.27%の25億9800万円で落札しました。

1社入札は賛成できない

次の議案9号は、電気設備工事です。予定価格は税抜9億8170万円でしたが、落札率は96.77%で、私の基準の落札率98%を下回っていましたが、応札したのは1社だけでした。

落札率98.35%は反対投票

3件目は、議案10号の機械設備工事です。予定価格は税抜7億9000万円でした。2社が入札し、予定価格を下回った1社が落札率98.35%で落札しました。

再入札すべきです！

以上の3件に関して、予定価格が漏れたり、入札会社が談合していたといった明確な不正の根拠があるわけではありません。しかしながら、落札率98%以上、入札会社が1社のみという状況がありながら、すんなりと賛成、承認することはできません。市の事業執行をチェックする機関である議会が、そしてそれぞれの議員が、各自の判断基準に基づき議案を精査し、その可否を判断すべきものであると考えます。執行部としては、何の落ち度もなく、法例に従い議案として上程しているとは思いますが、もう一度、入札を実施していただきたく、反対投票に至りました。

質疑・一般質問要旨（抜粋）

項目	要旨	答弁者
1 教育行政について	(1) つくば市の義務教育学校 (2) 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」 (3) 学校給食費の公会計化（議案第5号含む。）	教育長
3 環境行政について	(1) PFOS・PFOA対策 (2) 令和5年度の公共施設のCO ₂ 排出量	環境部長／健康医療部長 環境部長
4 交通行政について	(1) ワニバース（市役所路線）実績 (2) ワニバース（旧ジャンボタクシー）実績 (3) カシワニクル実績	土木部長
5 職員人事について	(1) 地域手当8% (2) 令和5年度の職員採用実績 (3) 保育士配置基準変更（3歳児：20人から15人、4・5歳児：30人から25人）に伴う職員増加の状況	総務部長 こども部長



本会議一般質問の動画(60分)

本会議一般質問での議場掲示スライド

